

令和 8 年度 第 1 回社会教育委員会 会議録

開催日時	令和 8 年 4 月 15 日 水曜日 13 時 30 分から 14 時 50 分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム 1
出席者	和田智司教育長、久保田秀実委員長、関口金由紀副委員長、石黒賢路委員、稲葉通隆委員、宮入秀紀委員、
欠席者	石井文委員、市川葉子委員、三宅栄子委員
事務局	松本教育部長、武井生涯学習課長、二見生涯学習班長、北川スポーツ推進班長、込山図書館班長
その他	傍聴者 0 名

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. あいさつ

4. 自己紹介

5. 委員長、副委員長の選出

互選により、委員長に久保田秀実委員、副委員長に関口金由紀委員を選出

6. 議 題

(1) 生涯学習課事業報告について

(委員)

スポーツ推進班の事業について、延べ人数の考え方と資料の 6 番にあるニュースポーツ体験会の参加人数が 1 人についての事情などがあれば聞きたい。

(事務局)

延べ人数は参加人数と考えて差し支えない。ニュースポーツ体験会の人数については、当日の天候が雨天で気温も低く、町の総合防災訓練と日程が重なってしまったことから、参加人数が少なかった。

(委員)

ニュースポーツという言葉は最近よく聞く。ボッチャなど浸透してきた種目もあると思うが、イメージがつかないものもあると思う。ニュースポーツ

は老若男女できるスポーツだと思うが、広報等をする時に、どんな内容なのかも分かるようにできると良い。

(事務局)

広報誌に掲載する際は種目の名称のみになっており、その段階では内容が分からないため、内容の掲載方法については検討する。

(委員)

高齢化が進む中で、ニュースポーツは高齢者が運動をしたいと思ったときに家を出るきっかけになると思うので、検討を進めてもらいたい。

(委員長)

今期から青少年指導員とスポーツ推進委員の選出方法が公募となったが、地区にかたよりなどはあるか。

(事務局)

両委員とも小学校区で見ると、二宮小学校区が一番人数が多く、次いで山西小学校、一色小学校となっており、学校の規模等を考えると地区でのかたよりはなく応募があった。

(委員長)

新任の委員は何名いるのか。

(事務局)

スポーツ推進委員は3名、青少年指導員は6名である。

(2) 令和8年度二宮町社会教育委員会議事業予定について

(委員長)

地区研究会についてだが、5年後には二宮町に順番が回ってくる。地区研究会では事例発表をする必要があり、どのような方向で進めるか、今後検討する必要があると考えている。

活動として積み重ねてきたのとしては、放課後子ども教室を核にしたコミュニティスクールの関わりがあると思うが、それにこだわらず、町民大学のようにボランティアが企画や運営を行っている事業も当町の特色だと思うので、協議を進められると良い。

(3) その他

・山西プールの大規模改修基本構想について

(委員)

アンケートの結果で、プール内に虫や葉が入らないようにしてほしいという意見があるが、日よけを全体的に設置して、こうしたものが入らないようにすることはできないか。

(事務局)

詳細はこれからの検討となるが、設計業者とも話し合った際、全体を覆うものとした場合、耐久性や予算など課題があることが分かった。そのため、全体的に日よけでおおう事は難しいと考えている。

(委員)

虫や葉が入らないような工夫はできないか。

(事務局)

山西プールは山に隣接しているため、そういったものを防ぐことは難しい。できることとして、監視業務を受託している事業者が毎朝プール槽の清掃を行っている。

今後は水を循環する際にオーバーフロー等でゴミを取り除けるような仕組みができないかなど、検討していく。

(委員)

虫が苦手な子どもはどうしてもいる。以前赴任していた学校では、授業で使う前にはプール槽をオーバーフローさせ、ゴミ等を取り除いていた。そうした工夫で水が綺麗になると、子どもたちの中でも頑張ろうとする子どもがいたので、取り組みはしてもらいたい。

こういったゴミ以外では、プール槽に砂が入ってしまう課題があるところもあり、そういった所は使用の直前までシートをプール槽に張って対応していた学校もあった。

昨今、気温が高くなり、学校では水泳授業ができないことも増えてきた。水温を下げる工夫ができたらとも思う。

(事務局)

山西プールは競技用として設計されており、構造上、満水にしてしまうと、小学生は足が届かなくなってしまう。そのため、今は水深を浅くして運用している状況である。大規模改修では、子どもたちが安全に入れるよう、水深

も見直していく。

(委員)

水深はどの程度を見込んでいるか。

(事務局)

詳細はまだ検討中だが、平均身長なども考慮して小学校低学年が入れるプールは、80 cmから 80 cm未満を想定している。

(委員)

一般用はどの程度の水深になるか。

(事務局)

温水プールの水深が 120 cmであり、利用者からは水深についての意見をいただいたことはなかったため、それを参考に検討していく。

(委員)

現在ある幼児用プールはそのままか。

(事務局)

水深に変更はないが、プール槽に亀裂やシーリング材の劣化がみられるため、修繕は行っていく。

暑さ対策としては、現在の 50mプールを分割することにより、水を循環させやすくし、それにより、水温を下げられるようにするなど、検討していく。

(委員)

アンケートの中で、山西プールを利用したことがないという理由に、家から遠いという回答がみられる。山西プールは現在町内で唯一稼働するプールであるが、将来的に袖ヶ浦プールの稼働など、状況はどうなっているか。

(事務局)

アンケートの中にも、袖ヶ浦プールについての意見があった。二宮町はコンパクトな町でもあるので、まずは現在稼働している山西プールをしっかりと整備していく。

(委員)

山西プールの大規模改修には予算も時間も多くかかり、そこで袖ヶ浦プールもというのは難しいと思う。例えば、コミュニティバスをその時期だけでも便数をふやして循環するなどの検討はできないか。

(事務局)

一昨年のことだが、試験的に子どもについては夏休み期間中コミュニティバスを無料で運行したことがあった。

袖ヶ浦プールについては、議員からも要望をもらうことがあるが、複数のプールを整備することや駐車場の問題、また以前と違い、プール周辺に多く民家も建ったことから、周辺住民への影響など課題があり、今の段階では難しいと考えている。

4. 閉 会